

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公開番号】特開2009-237850(P2009-237850A)

【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2008-82466(P2008-82466)

【国際特許分類】

G 07 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 07 D 9/00 403Z

G 07 D 9/00 416C

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

双方から同時に入金処理を行うことが可能な貨幣取引処理装置であって、

一方が貨幣を入金するための第1の貨幣入金口と、

他方が貨幣を入金するための第2の貨幣入金口と、

前記第1の貨幣入金口に投入された貨幣を識別計数する第1の識別計数手段と、

前記第2の貨幣入金口に投入された貨幣を識別計数する第2の識別計数手段と、

前記第1の識別計数手段で識別計数された貨幣を格納する一方の一時保留部と、

前記第2の識別計数手段で識別計数された貨幣を格納する他方の一時保留部と、

前記各一時保留部の下流側に設けられ、前記一時保留部に格納されている貨幣を収納する

収納部とを備えることを特徴とする貨幣取引処理装置。

【請求項2】

双方から同時に入金処理を行うことが可能な貨幣取引処理装置であって、

一方が貨幣を入金するための第1の貨幣入金口と、

他方が貨幣を入金するための第2の貨幣入金口と、

前記第1の貨幣入金口に投入された貨幣を識別計数する第1の識別計数手段と、

前記第2の貨幣入金口に投入された貨幣を識別計数する第2の識別計数手段と、

前記第1の識別計数手段で識別計数された貨幣を金種混合状態で格納する金種混合一時保留部と、

前記第2の識別計数手段で識別計数された貨幣を金種別に格納する複数の金種別一時保留部と、

前記各金種別一時保留部の下流側に設けられ、前記金種別一時保留部に格納されている貨幣をそれぞれ収納する金種別収納部とを備えるとともに、

前記金種混合一時保留部に格納された貨幣を前記第2の識別計数手段で識別計数し、前記金種別一時保留部を経由して前記金種別収納部に収納することを特徴とする貨幣取引処理装置。

【請求項3】

双方から同時に入金処理を行うことが可能な貨幣取引処理装置であって、

一方が貨幣を入金するための第1の貨幣入金口と、

他方が貨幣を入金するための第2の貨幣入金口と、  
前記第1の貨幣入金口に投入された貨幣を識別計数する第1の識別計数手段と、  
前記第2の貨幣入金口に投入された貨幣を識別計数する第2の識別計数手段と、  
前記第1の識別計数手段で識別計数された貨幣を金種混合状態で格納する金種混合一時保留部と、  
前記第2の識別計数手段で識別計数された貨幣を金種別に格納する複数の金種別一時保留部と、  
前記各金種別一時保留部の下流側に設けられ、前記金種別一時保留部に格納されている貨幣をそれぞれ収納する金種別収納部と、  
前記金種混合収納部と前記金種別一時保留部との間に設けられた第3の識別計数手段とを備えるとともに、  
前記金種混合一時保留部に格納された貨幣を前記第3の識別計数手段で識別計数し、前記金種別一時保留部を経由して前記金種別収納部に収納することを特徴とする貨幣取引処理装置。

【請求項4】

前記金種混合一時保留部の下流側にさらに金種混合収納部を備え、前記金種混合一時保留部に格納されている貨幣を収納するとともに、  
前記金種混合収納部に収納された貨幣を前記第2の識別計数手段で識別計数し、前記金種別一時保留部を経由して前記金種別収納部に収納することを特徴とする請求項2に記載の貨幣取引処理装置。

【請求項5】

前記金種混合一時保留部の下流側にさらに金種混合収納部を備え、前記金種混合一時保留部に格納されている貨幣を収納するとともに、  
前記金種混合収納部に収納された貨幣を前記第3の識別計数手段で識別計数し、前記金種別一時保留部を経由して前記金種別収納部に収納することを特徴とする請求項3に記載の貨幣取引処理装置。